

令和 5 年度(2023 年度) 年間授業計画表

学年	2	コース	特進Z	選択形態	必須	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位	4
学習目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、様々な情報を論理的に分析し、それについて発表議論することができる。また、国際社会および多様性について理解を深める。								
使用教科書	CROWN English Communication I (三省堂)		副教材			予定時間数		140	
単元と内容									
1学期	Lesson 1 Lost in Translation		言語・日本文化 / 説明する・描写する						
	Lesson 2 One Book Can Empower a Child		教育・国際貢献 / 理由を説明する・申し込む						
	Lesson 3 Accessible Japan		多様性・観光 / 助言する・提案する						
	Lesson 4 Crossing the Border		国際協力・平和 / 賛否を表現する						
2学期	Lesson 5 Mental Toughness		スポーツ・心理 / 共感する						
	Lesson 6 Walking in Gaudí's Footsteps		芸術・異文化 / 仮定する						
	Lesson 7 Why Biomimicry?		科学技術 / 理由を述べる・説得する						
	Lesson 8 Invisible No Longer		人権・共生 / 話題を変える・要約する						
3学期	Lesson 9 Nudges		生活・経済 / 話題を発展させる						
	Lesson 10 Are We Alone?		宇宙・科学 / 主張する						
評価									
評価の観点		評価の趣旨					評価対象		
							1学期末	2学期末	学年末
①	知識・技能	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。					○	○	○
②	思考力・判断力・表現力	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。					○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。					○	○	○
評価方法例	①		②			③			
	定期考査	80%	定期考査	40%	口頭試問	50%			
	レポート	10%	口頭試問	30%	各種発表・まとめ	50%			
	相互評価	5%	各種発表・まとめ	30%					
	各種提出	5%							

令和 5 年度(2023 年度) 年間授業計画表

学年	2	コース	特進選抜	選択形態	必須	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位	4
学習目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、様々な情報を論理的に分析し、それについて発表議論することができる。また、国際社会および多様性について理解を深める。								
使用教科書	CROWN English Communication I (三省堂)	副教材					予定時間数	140	
単元と内容									
1学期	Lesson 1 Lost in Translation	言語・日本文化 / 説明する・描写する							
	Lesson 2 One Book Can Empower a Child	教育・国際貢献 / 理由を説明する・申し込む							
	Lesson 3 Accessible Japan	多様性・観光 / 助言する・提案する							
	Lesson 4 Crossing the Border	国際協力・平和 / 賛否を表現する							
2学期	Lesson 5 Mental Toughness	スポーツ・心理 / 共感する							
	Lesson 6 Walking in Gaudí's Footsteps	芸術・異文化 / 仮定する							
	Lesson 7 Why Biomimicry?	科学技術 / 理由を述べる・説得する							
	Lesson 8 Invisible No Longer	人権・共生 / 話題を変える・要約する							
3学期	Lesson 9 Nudges	生活・経済 / 話題を発展させる							
	Lesson 10 Are We Alone?	宇宙・科学 / 主張する							
評価									
評価の観点		評価の趣旨				評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。				○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。				○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。				○	○	○	
評価方法例	①		②		③				
	定期考査	80%	定期考査	40%	口頭試問 50%				
	レポート	10%	口頭試問 30%		各種発表・まとめ 50%				
	相互評価	5%	各種発表・まとめ 30%						
	各種提出	5%							

令和 5 年度(2023 年度) 年間授業計画表

学年	2	コース	特進Z	選択形態	必須	科目	論理表現Ⅱ	単位	3
学習目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。								
使用教科書	Be Smart II (いいずな書店)		副教材			予定時間数		105	
単元と内容									
1学期	Lesson 1	時制 / 将来の夢について話す							
	Lesson 2	名詞句・名詞節 / 家で過ごす時間について話す							
	Lesson 3	助動詞 / 学校生活について話す							
	Lesson 4	形容詞 / 体験から学んだことを話す							
	Lesson 5	形容詞句 / 現代社会の利便性について考える							
	Lesson 6	形容詞節 / 情報社会について考える							
2学期	Lesson 7	副詞 / ことばと思考について考える							
	Lesson 8	副詞句 / 感情と心のはたらきについて考える							
	Lesson 9	副詞節 / リーダーシップの意味を考える							
	Lesson 10	比較 / 日本を紹介する							
	Lesson 11	仮定法 / イノベーションについて考える							
	Lesson 12	接続詞 / 多様性を受け入れる社会を考える							
	Lesson 13	「ある」「いる」「かかる」 / 観光と日本社会を考える							
3学期	Lesson 14	使役動詞・知覚動詞 / 食と健康について考える							
	Lesson 15	無生物主語 / 世界が抱える問題とSDGsを考える							
評価									
評価の観点		評価の趣旨				評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。				○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。				○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。				○	○	○	
評価方法例	①		②		③				
	定期考査	80%	定期考査	40%	口頭試問		50%		
	レポート	10%	口頭試問	30%	各種発表・まとめ		50%		
	相互評価	5%	各種発表・まとめ						
	各種提出	5%							

令和 5 年度(2023 年度) 年間授業計画表

学年	2	コース	特進選抜	選択形態	必須	科目	論理・表現Ⅱ	単位	3
学習目標	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。								
使用教科書	Be Smart II (いいずな書店)		副教材			予定時間数		105	
単元と内容									
1学期	Lesson 1	時制 / 将来の夢について話す							
	Lesson 2	名詞句・名詞節 / 家で過ごす時間について話す							
	Lesson 3	助動詞 / 学校生活について話す							
	Lesson 4	形容詞 / 体験から学んだことを話す							
	Lesson 5	形容詞句 / 現代社会の利便性について考える							
	Lesson 6	形容詞節 / 情報社会について考える							
2学期	Lesson 7	副詞 / ことばと思考について考える							
	Lesson 8	副詞句 / 感情と心のはたらきについて考える							
	Lesson 9	副詞節 / リーダーシップの意味を考える							
	Lesson 10	比較 / 日本を紹介する							
	Lesson 11	仮定法 / イノベーションについて考える							
	Lesson 12	接続詞 / 多様性を受け入れる社会を考える							
	Lesson 13	「ある」「いる」「かかる」 / 観光と日本社会を考える							
3学期	Lesson 14	使役動詞・知覚動詞 / 食と健康について考える							
	Lesson 15	無生物主語 / 世界が抱える問題とSDGsを考える							
評価									
評価の観点		評価の趣旨				評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。				○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。				○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。				○	○	○	
評価方法例	①		②		③				
	定期考査	80%	定期考査	40%	口頭試問		50%		
	レポート	10%	口頭試問	30%	各種発表・まとめ		50%		
	相互評価	5%	各種発表・まとめ						
	各種提出	5%							